



抗がん剤治療中の皮膚の副作用についてお伝えします

がんの治療をはじめてから、手荒れや色素沈着が気になります



がんの薬物療法で皮膚におこる副作用を完全に防ぐことはできませんが、スキンケアの継続が大切です

スキンケアの基本

保清

石鹸は低刺激のものを使用し、よく泡立てる流水でていねいに洗い流す

保湿

保湿ケアに使うローション、クリームを塗る
熱いお湯（40度以上）の使用は避ける

保護

紫外線、虫刺され、摩擦などの刺激は避ける

発行：静岡県立静岡がんセンター「抗がん剤治療と皮膚障害」より



お問い合わせは
患者サポートセンター内がん相談支援センターに
お越しください